

保 健 予 防 課

1 感染症対策

感染症法に基づく発生届を受理し、疫学調査を実施しました。
また、感染性胃腸炎等感染症の集団発生時に疫学調査を実施し、感染拡大防止に努めました。

2 結核予防対策

感染症法に基づき、結核患者及びその家族等に対する医療・保健指導を行うとともに、訪問や面接等により結核患者の服薬を支援しました。

また、患者家族や利用施設等での接触者に対し、QFT検査や胸部エックス線検査による健康診断を行い、結核の早期発見・まん延防止に努めました。

3 エイズ予防・性感染症予防対策

エイズ相談検査を実施するとともに、青少年を対象に早期にエイズ・性感染症についての正しい知識を普及するため、パンフレットの配布等予防啓発事業を実施しました。

4 難病対策

難病患者への医療援護事務を行うとともに、難病患者地域支援ネットワーク事業として、相談会、つどい、訪問相談事業、在宅療養者支援計画策定・評価事業等を実施しました。

医療依存度の高い神経難病等患者と介護者の療養支援を目的とする在宅神経難病患者等緊急一時入院の利用にあたって、申請受け付けを行うとともに療養相談を行いました。

また、地域の人材育成として、在宅難病患者保健医療福祉従事者等研修を実施しました。

5 肝疾患対策

第二の国民病ともいわれている肝臓病、特にウイルス性肝炎について専門医の講演会を実施しました。また、ウイルス性肝炎の早期発見と二次感染予防のため検査を実施しました。

B型ウイルス肝炎及びC型ウイルス肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療等やB型ウイルス肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療を実施する方に対する医療援護事務を行いました。

6 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、健康手帳等の交付及び年2回の健康診断を実施しました。

7 骨髄ドナー登録

白血病等の血液難病患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため登録受付を設けました。

8 認知症疾患対策

認知症疾患相談事業として、専門医・保健師等による相談・訪問指導を実施し、適正な診断・治療を受けるための指導、療養生活支援、家族に対する保健指導を行いました。特に若年性認知症の方については個別性が高いことから、継続した支援を行いました。

また、形骸化していた徘徊 SOS ネットワークの再構築を市町、警察と協働し図り新システムをたちあげました。

9 精神保健福祉対策

精神疾患の早期発見早期治療を図るため、専門医・福祉職・保健師による相談・訪問を行いました。また、関係機関や団体との連携を図るため、会議を開催するとともに関係団体への支援を実施しました。

その他、精神疾患を正しく理解するための講演会を開催しました。また、自殺防止対策としてゲートキーパー養成出前講座を実施しました。

1 感染症対策

(1) 感染症発生状況

	発生件数	患者数	無症状病原体保有者数	接触者検便延数	備考
総数	23	18	5	11	
1類感染症					
2類感染症					
3類感染症	10	5	5	11	腸管出血性大腸菌感染症 10
4類感染症	7	7			レジオネラ症 7
5類感染症	6	6			アメーバ赤痢 3 カルパペナム耐性腸内細菌感染症 2 後天性免疫不全症候群 1

2類感染症は結核を除く数

5類感染症は全数把握のみ

(2) 通報等に伴う調査

	通報件数	調査者数	患者・保菌者数	行政検便延件数
総数	3	2		
検疫通報(成田空港検疫所から)	1			
検疫情報(他県等から)	2	2		

(3) 集団かぜによる学級閉鎖・学年閉鎖状況

	平成25年度			平成26年度		
	施設数	学級数	欠席者数	施設数(実)	施設数(延)	欠席者数
総数	42	47	488	17	26	317
幼稚園	1	1	12	0	0	0
小学校	38	42	458	13	22	285
中学校	1	2	12	2	2	21
高等学校				2	2	11
特別支援学校	2	2	6			

2 結核予防対策

(1) 健康診断

ア 管理検診・接触者健診

	勧告者数	受診者数		受診率(%)	受診結果			
		保健所	医療機関		要医療	経過観察	観察不要	異常なし
管理検診		11					2	9
接触者健診	459	457	2	100	21	39		399

イ 平成26年度エックス線直接撮影検査実施状況

	平成26年度		前年度実績	
	対象者	撮影件数	対象者	撮影件数
管理検診	11	11	6	11
接触者健診	51	61	91	123
総計	62	72	97	134

ウ 平成26年度QFT検査・ツベルクリン反応検査実施状況

QFT検査	ツベルクリン反応検査
398	1

(2) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 受療別・市町別登録患者数

(平成26年12月31日現在)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性							
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他					
総数	97	12	14	2	5	48	16	38	
受療別	入院	6	3	2		1			
	在宅医療	27	9	11	2	4	1	15	
	経過観察	64		1			48	15	23
市町別	小田原市	65	8	10	1	2	33	11	29
	箱根町	5		2			3		
	真鶴町	5			1		3	1	
	湯河原町	22	4	2		3	9	4	9

(イ) 年齢階級別登録患者数

(平成26年12月31日現在)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他				
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他					
総数	97	12	14	2	5	48	16	38	
0～4歳	0								
5～9歳	0							2	
10～14歳	0								
15～19歳	1	1						2	
20～29歳	2	1				1		4	
30～39歳	8		2		1	4	1	5	
40～49歳	11	2		1		4	4	3	
50～59歳	12	1	2			6	3	7	
60～69歳	22	3	3			12	4	9	
70歳以上	41	4	7	1	4	21	4	6	

(ウ) 新登録患者数

(平成26年1月1日～12月31日)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他		
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他			
総数	42	23	12	2	5	22	
0～4歳	0						
5～9歳	0						
10～14歳	0						
15～19歳	1	1				1	
20～29歳	1	1				2	
30～39歳	1		1			2	
40～49歳	3	2		1		1	
50～59歳	3		3			5	
60～69歳	5	4	1			5	
70歳以上	28	15	7	1	5	6	

(工) 結核患者登録率の推移 (人口10万対)

	神 奈 川 県		管 内	
	登 録 数	登 録 率	登 録 数	登 録 率
平成22年	4,236	46.8	66	26.7
平成23年	4,275	47.2	76	30.9
平成24年	4,008	44.2	87	35.6
平成25年	3,692	40.7	88	36.2
平成26年	-	-	97	40.2

(オ) 結核り患率の推移 (人口10万対)

	神 奈 川 県		管 内	
	新登録数	り 患 率	新登録数	り 患 率
平成22年	1,577	17.4	35	14.2
平成23年	1,561	17.2	41	16.7
平成24年	1,395	15.4	41	16.8
平成25年	1,353	14.9	42	17.3
平成26年	-	-	42	17.4

(力) 結核有病率 (人口10万対)

	神 奈 川 県		管 内	
	活動性結核	有 病 率	活動性結核	有 病 率
平成22年	1,350	14.9	19	7.7
平成23年	1,310	14.5	25	10.2
平成24年	1,022	11.3	27	11.0
平成25年	913	10.1	26	10.7
平成26年	-	-	33	13.7

(キ) 結核患者家庭訪問指導状況

	実人員	延人員
平成22年	22	62
平成23年	30	82
平成24年	36	130
平成25年	39	202
平成26年	47	206

(ク) 保健所機能強化型DOTS強化事業(実人員)

訪 問	面 接	電 話
12	37	7

(3) 感染症診査協議会結核部会
医療費公費負担診査件数

	総 数	37条申 請入院 勧 告	37 条 の 2 申 請 (一般患者)								
			小 計	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢	生活 保護	その他
				本人	家族	一 般	退職者				
							本人	家族			
申請件数(計)	136	61	75	18	9	15			27	3	3
医療内容合格	136	61	75	18	9	15			27	3	3
公費負担承認	136	61	75	18	9	15			27	3	3
公費負担不承認	0										

3 エイズ予防・性感染症予防対策

(1) エイズ相談・検査

ア エイズ相談・検査実施状況

エイズ相談は医師・保健師による随時相談、検査は月1回水曜日に匿名、予約制で実施しました。

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
相談件数	351	510	659	418	428	392	442	313	329
検査実施数	99	126	169	112	128	108	115	80	83

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合計
総数	3	15	41	11	5	8	83
男	2	8	31	9	5	7	62
女	1	7	10	2	0	1	21

(2) エイズ予防啓発事業

実施日	内 容	会 場	参加者数
H26.4.11 H26.9.5	看護学生等へのパンフレットの配布	小田原合同庁舎	125
H26.4.30	がん検診普及啓発セミナーでの学生、教員への啓発グッズの配布	国際医療福祉大学 小田原キャンパス	70
H26.5.31	看護の日イベントでパンフレット配布	小田原市立病院	50
H26.7.2	がん検診普及啓発セミナーでの学生、教員への啓発グッズの配布	小田原女子短期大学	177
H26.9.2	がん検診普及啓発セミナーでの学生、教員への啓発グッズの配布	小田原看護専門学校	43
H26.10.5	小田原市ふれあいけんこうフェスティバルでの市民への啓発グッズの配布	ダイナシティウエスト (西武小田原店)	50
H26.11.1	関東学院大学学園祭への啓発グッズの配布	関東学院大学小田原 キャンパス	93
H26.12.4	がん検診普及啓発セミナーでの学生、教員への啓発グッズの配布	積善会看護専門学校	75

(3) 青少年エイズ・性感染症予防講演会

性感染症の正しい知識と予防に関する普及啓発を行うため、高校生等を対象に講演会を行っています。今年度は要請がありませんでした。

3 難病対策

(1) 特定疾患医療受給者証交付件数

平成26年12月31日までは56種の難病に対して助成を実施しました。

平成26年5月23日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が成立し、平成27年1月1日より施行となりました。これにより110疾患が指定難病として選定されています。

(平成26年12月31日現在)

	No	疾患名	市町村名				計		No	疾患名	市町村名				計	
			小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町					小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町		
膠原病	1	ベーチェット病	25	5	2	6	38	神経・筋系	2	多発性硬化症	26	1	3	5	35	
	4	全身性エリテマトーデス	122	5	5	9	141		3	重症筋無力症	22	2	2	4	30	
	7	サルコイドーシス	13	1	2	2	18		5	スモン		1			1	
	9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	96	4	1	15	116		8	筋萎縮性側索硬化症	22	1	1	3	27	
	11	結節性動脈周囲炎	21	2	3	3	29		16	脊髄小脳変性症	44	3	2	7	56	
	13	大動脈炎症候群	9	1	1	1	12		20	パーキンソン病関連疾患	190	12	7	30	239	
	15	天疱瘡	11		3	2	16		22	後縦靭帯骨化症	67	3	2	12	84	
	19	悪性関節リウマチ	10			1	11		23	ハンチントン病		1			1	
	21	アミロイドーシス	4				4		24	モヤモヤ病	28	2		2	32	
	25	ウェグナー肉芽腫症	5				5		27	多系統萎縮症	28		1	5	34	
	28	表皮水疱症							30	広範脊柱管狭窄症	3			3	6	
	29	膿疱性乾癬	1				1		33	特発性大腿骨頭壊死症	37	3	1	1	42	
	(15)	34	混合性結合組織病	18	1	1	1		21	37	網膜色素変性症	67	4	4	8	83
		53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	1					1	38	プリオン病	3				3
		54	重症多形滲出性紅斑(急性期)							40	神経繊維腫症・型	6	1			7
		計	336	19	18	40	413	(22)	41	亜急性硬化性全脳炎						
血液系	6	再生不良性貧血	15	1	1		17	45	副腎白質ジストロフィー							
	10	特発性血小板減少性紫斑病	31	5	2	3	41	47	脊髄性筋萎縮症	2	1			3		
	35	原発性免疫不全症候群	2			2	4	48	球脊髄性筋萎縮症	2	1		1	4		
	(3)	計	48	6	3	5	62	49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7	1			8		
循環器系	14	ピュルガー病	3		1	2	6	52	ミトコンドリア病	2			1	3		
	26	特発性拡張型(うっ血型)心筋病	36		1	1	38	55	黄色靭帯骨化症	3	1		1	5		
	36	特発性間質性肺炎	16	1		2	19		計	559	38	23	83	703		
	39	肺動脈性肺高血圧症	7			2	9	12	潰瘍性大腸炎	294	18	6	37	355		
	43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4				4	17	クローン病	84	3	1	6	94		
	(8)	44	ライソゾーム病	4	1			5	18	劇症肝炎	1				1	
消化器系	50	肥大型心筋症	4			1	5	31	原発性胆汁性肝硬変	22	2	1	3	28		
	51	拘束型心筋症						32	重症急性膵炎	3			1	4		
		計	74	2	2	8	86	(6)	42	パッド・キアリ症候群						
	46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)							計	404	23	8	47	482		
代謝系(1)	計															
内分泌系(1)	56	間脳下垂体機能障害	22	2	1	6	31		総数	1,443	90	55	189	1,777		
	計	22	2	1	6	31										

(2) 難病患者地域支援ネットワーク事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、保健、医療及び福祉に関するつどい、相談指導等を実施するとともに、きめ細やかな支援の必要な難病患者に対し、関係機関との連携のもと適切な在宅療養支援を提供するための検討を行いました。

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅療養支援計画策定・評価委員会

難病患者への保健福祉事業が円滑かつ効果的に行われるために、難病患者とその家族を取り巻く状況や課題等を把握検討し、管内の難病保健福祉ケアの向上を図る。

神経難病医療ネットワーク検討会として開催

開催日	内 容	出席者数
H26.6.24	・難病の患者に対する医療等に関する法律について ・事例検討他	36
H26.9.30		37
H27.2.24		33

イ 難病講演会及び難病相談会

講演会

開催日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人数
H27.3.11	網膜色素変性症の病気や福祉制度について	日本網膜色素変性症協会神奈川支部	小田原合同庁舎	54

相談会

開催日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人数
H26.12.4 H26.12.18	神経難病個別相談会	マナクリニック 副院長 須田南美氏	小田原保健福祉事務所健診室等	3

ウ 難病患者と家族のつどい(対象 全疾患)

開催日	内 容	担当者	会 場	参加人数
H26.4.15	健康相談、歌、体操、交流会他	保健師、ボランティア	小田原保健福祉事務所 集団活動室	14
H26.5.20				16
H26.7.15				15
H26.11.18				14
H27.1.20				18
H27.3.17				16

難病患者と家族のつどい(対象 パーキンソン病)

開催日	内 容	講 師	会 場	参加人数
H27.3.3	講話・実技指導「ミニリハビリ体操教室」	運動指導員 橘高 靖子氏	小田原保健福祉事務所 集団活動室	24

エ 訪問相談事業

訪問相談員として保健師、看護師を雇用し、要支援難病患者宅を訪問し、患者・家族の療養上の悩みに対して相談指導を実施し療養を支援しました。

実施回数	訪問相談対象実人員	延人員
31	11	18

オ 保健師による家庭訪問・所内指導

家庭訪問

	総数	神経系	膠原病	消化器系	血液系	循環器系
実人数	31	28	3			
延べ	79	67	12			

随時相談

面接	電話	その他	総数	主な相談内容（延べ）					
				申請	医療	看護	福祉	その他	延べ計
705	305	52	1,062	780	20	66	73	137	1,076

(3) 難病特別対策推進事業

ア 在宅神経難病患者緊急一時入院（平成17年4月より開始）

2次医療圏に1床、県域で8床、管内は箱根病院、足柄上病院に1床ずつ確保されています。

医療依存度の高い神経難病患者等の介護者のレスパイトや介護困難時の一時入院の受け入れを行います。

<利用者の状況> 利用回数 14件(実利用者 8名)

利用者	利用月	疾患	医療機器	性別	理由	期間	受入病院
A	H26.4 H26.7	パーキンソン病	吸引器、経管栄養	女性	介護疲労	12日間 6日間	足柄上病院
B	H26.6 H26.11	パーキンソン病	吸引器、 胃ろう経管栄養	男性	介護疲労	13日間 14日間	箱根病院 足柄上病院
C	H26.6 H26.12	結節性動脈周囲 炎	吸引器、 胃ろう経管栄養	男性	介護疲労	14日間 14日間	足柄上病院
D	H26.7 H27.2	パーキンソン病	胃ろう経管栄養	男性	介護疲労	14日間 9日間	足柄上病院
E	H26.9 H26.11	多系統萎縮症	中心静脈栄養、気管 切開、胃ろう経管栄 養、吸引器、膀胱留 置カテーテル	女性	介護疲労	10日間 1日間	足柄上病院
F	H26.11 H27.1	多系統萎縮症	気管切開、 胃ろう経管栄養 吸引器	女性	介護疲労	11日間 3日間	箱根病院
G	H27.1	多系統萎縮症	吸引器、胃ろう経 管栄養、膀胱留置 カテーテル	男性	介護疲労	14日間	箱根病院
H	H27.3	脊髄小脳変性症	なし	女性	介護疲労	14日間	箱根病院

イ 在宅難病患者保健福祉従事者等研修会

地域で難病患者に関わっている支援者（ケアマネジャー、介護ヘルパー、サービス提供責任者、訪問看護師、地域包括支援センター職員、行政保健師等）を対象に、個別事例や地域での支援課題をテーマにスキルアップを目的に実施しました。

実施日	テーマ	講師	会場	参加人数
H26.6.4	パーキンソン病関連疾患の基礎と知識	お堀端クリニック 医師 高橋 三津雄氏	小田原合同庁舎	104
H27.1.9	摂食・嚥下ケア研修	小田原市立病院 看護部 小澤 公人氏	小田原合同庁舎	36

5 肝疾患対策

(1) 肝疾患対策講演会

開催日	テーマ	講師	会場	参加者数
H26.9.3	「B・C型慢性肝炎の最新治療について」	東海大学医学部付属病院 消化器内科准教授 加川建弘氏	小田原保健福祉事務所足柄上センター	17

(2) C型及びB型肝炎ウイルス検査（H20.2からHBs抗体検査は中止）

	HCV抗体	HBs抗原
受診者数	5	5
陽性者数	1	
陰性者数	4	5

(3) 肝炎治療医療費助成制度

平成20年4月からインターフェロン治療に対する医療費助成制度が開始され、平成22年度4月から核酸アナログ製剤治療も助成対象に追加となりました。平成24年1月から治療薬「テラプレビル」を含む3剤併用療法、平成25年11月19日から治療薬「シメプレビル」を含む3剤併用療法も助成対象となっています。更に平成26年9月から、新たに保険適用となったインターフェロンフリー治療も医療費助成の対象となっています。

区分	申請者数	
インターフェロン治療	10	
核酸アナログ製剤治療	新規	7
	更新	66
インターフェロンフリー治療	30	
3剤併用療法	13	

6 原爆被爆者援護

(1) 原爆被爆者健康管理事業

ア 被爆者健康手帳等交付状況

	H26.3月末現在 手帳保有者	新規交付
総 数	131	1
被 爆 者 健 康 手 帳	61	
第1種健康診断受診者証		
第2種健康診断受診者証		
被爆者のこども受診者証	70	1

イ 被爆者健康診断実施状況

		受診者			要精検者	要治療	
		総 数	被爆者	第2種			被爆者の 子ども
平成25年度		9	5	0	4	5	0
平成26年度	総 数	8	5	0	3	2	0
	第1回 5月	3	2		1	1	
	第2回 11月	5	3		2	1	

7 骨髄ドナー登録

白血病、重症再生不良性貧血等の患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、骨髄移植推進財団を中心に骨髄バンク事業が実施されていますが、平成7年度から骨髄提供希望者のより一層の確保を図るため、県域では、小田原保健福祉事務所、厚木保健福祉事務所大和センターの2か所が登録受付業務を実施しています。

(1) 小田原保健福祉事務所登録受付の状況

	24年度	25年度	26年度
総 数	3	2	0
男	3		
女		2	

(2) 骨髄バンクの状況

	全 国	神奈川県
骨 髄 ド ナ ー 登 録 者 数	450,597	20,080
患 者 登 録 者 数	2,758	85
骨 髄 移 植 例 数 (累計)	18,063	1,180

骨髄移植推進財団日本骨髄バンク 骨髄バンクデータ集資料より 平成27年3月31日現在

8 認知症疾患対策

(1) 認知症相談事業

ア 随時相談

若年性認知症や独居、高齢者虐待など処遇困難な事例が増えており、市町や地域包括支援センターからの相談が増えています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法			相談内容(延数)							
		電話	面接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 所	介 護 保 険 サ ー ビ ス	その他	
48	126	105	9	12	26	29	20	50	3	10	27	

イ 定例相談

認知症が疑われるが受診に結びつかない対象者に対し、健康相談として精神科医と訪問ができる貴重な場面にもなっています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延数)	相談の方法			相談内容(延数)							
		訪 問	面 接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 所	介 護 保 険 サ ー ビ ス	その他	
20	23	14	9		22	13	11	3		3	3	

(2) 家庭訪問指導事業実施状況

件数	訪 問 数					年 齢 別(実数)						
	男		女		総数		60歳 未 満	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	総数
	実数	延数	実数	延数	実数	延数						
4	10	8	11	12	21	1	4	2	4	1	21	

(3) 処遇困難事例検討事業

一般住民や、地域で認知症患者に関わっている支援者を対象に、研修会・シンポジウムを開催しました。

開催日	内 容	講 師	会 場	対 象	参加者
H26.7.22	感染症対策研修会～認知症高齢者等の介護に携わる職員の心得～	小田原市立病院 感染管理認定看護師 荒木 政枝氏	小田原合同庁舎	介護保険事業所職員、通所介護事業所職員等	36
H26.10.31	認知症予防について	当所保健師	箱根町社会教育センター	一般住民等	16
H27.2.20	若年性認知症シンポジウム	・国際医療福祉大学 小田原保健医療学部看護学科 教授 吉村 恵美子氏 ・ひまわりメンタルクリニック 院長 小林博子氏 ・ODAWARA若年認知症サポートプロジェクト 代表/しきさい館 峯尾 生恵氏 ・若年性認知症のご家族	小田原合同庁舎	一般住民、患者家族、支援者、企業、関係機関職員等	51

(4) 徘徊SOSネットワーク事業

徘徊する方の安全を守るため徘徊SOSネットワークとして、市町が事前登録、搜索保護の窓口を担当し、当事務所では広域搜索について市町、県庁との連絡調整を担当しています。なお、職員に対し伝言板を活用し搜索依頼を行いました。

ア 市町別徘徊SOSネットワーク事前登録状況

事前登録数 (今年度新規登録)	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町
75(39)	68	2	2	3

イ ネットワーク実施状況

搜索依頼件数	発見者数	保護件数	他地域からの 広域搜索依頼件数
2	2	0	170

ウ 徘徊SOSネットワーク担当者連絡会

平成12年に立ち上げたネットワークシステムを見直し、平成26年4月から防災主管課も組み入れたネットワークに変更しました。

開催日	内 容	出席者
H27.3.20	<ul style="list-style-type: none"> 徘徊SOSネットワークの現状と課題について 真鶴町における徘徊SOS模擬訓練について 平成27年度の取り組みについて 	10

その他、他機関との打ち合わせを3回行いました。

エ 徘徊模擬訓練

地域住民が認知症や徘徊についての理解を深め、徘徊者を隣近所や地域で見守れる地域づくりを推進するため、真鶴町と共催で実施しました。

開催日	内 容	講師	会場	対象	参加者数
H27.3.19	<ul style="list-style-type: none"> 講習会 情報伝達訓練 徘徊搜索訓練 	真鶴町地域包括支援センター保健師・社会福祉士・看護師、小田原警察署巡査部長、当所保健師	真鶴町民センター、真鶴町全域	町民	講習会：26人 徘徊搜索訓練：29件

(5) その他

ア 認知症患者家族交流会

認知症の方を介護する家族、認知症サポーターや介護ボランティア、関係職員を対象に、ピアカウンセリングの場として小田原市と共催で実施しました。

開催日	内 容	講 師	参加者数
H26. 4.18	交流会		6
H26. 5.16	排泄について	小田原市立病院 認知症認定看護師 浅川健恵氏	10
H26. 6.16	交流会		9
H26. 7.14	日本老年精神医学会専門医を囲んで 交流会	ひまわりメンタルクリニック 院長 小林博子氏	16
H26. 8.18	交流会		12
H26. 9.16	交流会		8
H26.10.16	地域包括支援センター・ケアマネージャー のお仕事	地域包括支援センター 主任介護支援専門員	7
H26.11.17	交流会		8
H26.12.16	クリスマスのイベント ～本人さんと一緒に～		9
H27. 1.16	交流会		12
H27. 2.16	交流会		14
H27. 3.16	交流会		13

イ その他ネットワーク整備の検討

開催日	内 容	会場	出席者
H26.11.19	認知症疾患医療センター曾我病院の聞き取り	曾我病院	6
H27.3.30	若年性認知症の方の居場所づくりについての意見交換会 ～シンポジウムの振り返り～	小田原合同庁舎	20

9 精神保健福祉対策

地域における精神保健及び精神障害者の福祉のニーズは年々高まっていますが、当所では精神疾患の早期発見、早期治療、再発防止に努めるとともに、精神障害者の社会復帰のための援助を行いました。また、メンタルヘルスの推進を目的に普及啓発活動を行いました。

(1) 精神保健福祉相談・訪問指導

ア 把握区分

	実人員	延人員
相 談	194(120)	812
訪問指導	62(10)	171

()内は、保健所把握新ケース(内数)

イ 相談性別・年齢

	性 別			年 齢								
	男	女	不明	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	不明
実人員	103	90	1		4	19	29	53	28	19	26	16
延人員	503	308	1		10	41	120	279	219	70	54	19

ウ 訪問指導性別・年齢

	性 別			年 齢								
	男	女	不明	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	不明
実人員	35	27			2	4	10	14	8	9	15	
延人員	110	61			2	11	28	40	43	26	21	

エ 相談・訪問契機

	実人員	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相 談	194	22	10	79	42	41
訪 問	62	9	5	14	4	30

オ 相談種別

	実人員	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相 談	194	84	61	6	13	30
訪問指導	62	38	15		2	7

カ 診断名

	実 人 員	統 合 失 調 症	気 分 (感 情) 障 害	て ん か ん	器 質 性 精 神 障 害	中 毒 性 精 神 障 害		神 経 症	そ の 他 の 精 神 障 害	診 断 保 留	精 神 障 害 と 認 め ず	そ の 他
						ア ル コ ー ル	覚 せい 剤 ・ 他					
相 談	194	56	16	2	2	18	2	18	13	6	5	68
訪問指導	62	22	2		3	9	2	9	3	3	2	15

キ 相談者

	総数	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相 談	847	476	226	47	30	68
訪問指導	287	126	98	17	11	35

ク 担当者別相談回数

	総数	医師	福祉職	保健師	その他
相 談	873	50	760	44	19
訪問指導	222	20	167	17	18

(2) 教育広報活動

ア 精神保健福祉講演会

開催日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H26. 12.10	統合失調症とは ～みなさんに知ってほしい～	国府津病院副院長 山田 聡敦氏	一般住民等	143

(3) 自殺対策事業

地域住民や、関係者に自殺予防、うつ病の理解をすすめるための普及啓発や研修会を開催しました。また、職域と連携し、勤労者のメンタルヘルスを推進しました。

自殺対策出前講座(ゲートキーパー養成研修・私のこころサポート講座)

実施日	内 容	講 師	対 象	参加者数
H26.7.25	ケアマネジャーのメンタル ケア講座	小田原保健福祉事務所 保健予防課長 小糸 英明	居宅介護支援専門員	12
H27.2.19	メンタルヘルスの基礎知識	国府津病院長 物部長承氏	事業所従業員	122

(4) 組織育成活動
精神保健福祉関係団体への支援

	援 助 内 容	援助回数
精 神 障 害 者 家 族 会	総会	1
断 酒 会 、 A A	酒害相談研修会に出席、会場手続き等	1
地域活動支援センター 型支援	総会・地域ネットワーク会議参加	3

(5) 社会復帰の援助
ア 精神障害者(主に統合失調症)の家族教室

開催日	内 容	講 師	出席 家族数
H26. 8.28	統合失調症 病気の理解	曾我病院長 長谷川 剛 氏(精神科医師)	38
H26.9. 12	家族の体験 障害福祉の制度・サービス	小田原地区精神保健福祉会「梅の会」 (家族会)会長 小田原市障がい福祉課職員	37
H26. 9.25	統合失調症の治療	曾我病院長 長谷川 剛 氏(精神科医師)	30
延 数			105

(6) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく一般からの申請(法22条)・警察官通報(法23条)に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

	件数	指定医療診察結果				病院紹介	診察立会い (内数)	不実施
		要措置	不要措置					
			入院	入院外	医療不要			
22条	1						1	
23条	8	5	1				2	

イ 精神科病院実地指導・実地審査(法38条の6)

(ア) 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

精神科病院におけるより良い医療の提供と適正な管理運営に資するため、管内2病院に対し実地に実態を把握し、必要な指導を行いました。

(イ) 精神保健福祉法に基づく実地審査(措置入院者等に対する精神保健指定医の診察)

施設数	審査結果					
	措置入院			医療保護入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
2	2			10		

ウ その他の医療保護事務

	延件数
入院届	523
退院届	527
定期病状報告	191

(7) 会議

保健福祉事務所管内における関係機関・団体等の連携により行われる各種保健・福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため関係機関で構成する会議を開催しました。

地域精神保健福祉連絡協議会

開催日	構成員	内容	出席者数
H27.3.20	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医療機関 ・社会復帰関係機関 ・家族会 ・相談支援事業者 ・市町担当課 ・市町社会福祉協議会 ・精神保健福祉センター ・保健福祉事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の主な取り組みと今後の予定について ・精神保健福祉法改正後の地域生活支援について ・その他 	19